

身近な生活について討論しよう
めあて 学習課題を達成するための学習計画を立てよう

【学習課題】ディベートにチャレンジ！
話し合い名人になろう

話し合い名人になるためには？

ディベートの仕方を知る

モデルディベート

学習の流れ

学習内容

論題を決める

情報・資料を収集

立論を考える

準備する

練習する

ディベートをする

論題
身近なテーマ

ディベート

話し合いの型と技を身に付けよう

論題「インスタント食品を積極的に取り入れるべきである」

グループで必要資料を集めた短冊を話し合いながら整理し、このようにまとめるといいです。

2 / 12 時間目 指導略案 ワークシート 資料
活動のねらい

学習課題を達成するための学習計画を立て、今後の学習の見通しをもつことができるようにする。

1 学習課題について確認する。

2 学習課題達成のための学習計画を立てる。

【発問】「ディベートの話し合い名人」になるためには、どのような学習が必要でしょうか。

グループで必要な学習について話し合い、短冊に書く。
短冊に書いたものを黒板に出し合い、同じ学習内容をグループで整理する。
短冊を「学習の流れを表すもの（上段）」と「学習内容」（下段）に整理する。
学習する順序を話し合う。

資料を基にディベートをするのに必要な力を確認させる。
ディベートの進め方や述べ方を確認するために、教材文の筆者の考えを借りて代表者がディベートすることを「モデルディベート」と名付け、まずは「モデルディベート」を行う必要があることを知らせる。
「モデルディベート」をした後で、学習した話し合いの型や技を生かして「ディベート」をさせ、話し合いの力の定着を図るようにする。

3 モデルディベートの論題を知り、教材文と出会う。

モデルディベートの論題「インスタント食品を積極的に取り入れるべきである」を提示し、自分の考えをもつための情報として教材文「インスタント食品とわたたちの生活」を読むことを知らせる。

4 本時の学習を振り返り、自己評価する。

学習を振り返らせ、「学習計画を立てての感想」「これからの学習について思うこと」などについて書かせる。

評価 ディベートに関心を持ち、学習課題を達成するための学習の方法や進め方について見通しをもっている。

5 次時の学習について見通しをもつ。

次時は、教材文を読んで、情報を読み取ることを確認する。